

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都市 】

1 実践テーマ	【 III 】
2 実施対象者	京都市立嵐山東小学校 4年1組…25名，4年2組…25名，教員…5名 育成学級 3名（5年…2名，6年…1名） 合計 58名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	障害者スポーツの選手を招いた講演や競技実技体験などを通して、オリンピック・パラリンピックについて知るとともに、障害のある人に対する理解を深めることができるようにする。
5 取組内容	◆事前学習 きらめき学習（総合的な学習の時間）において、福祉をテーマとした「人にやさしいまちづくり」の学習を進める。 ・住んでいる地域の現状について調査 ・課題設定 ・課題解決のための情報収集、体験 （バリアフリー、ユニバーサルデザイン、点字体験、など） ◆当日の学習 (1) はじめの挨拶、講師と選手の紹介 (2) 講師の方からのお話 ・車いすの仕組みや操作方法 ・車いすバスケットボールについて



	<p>(3) 車いす体験 ・車いすに人を乗せて押したり, 車いすに乗ってみたりする。 (方向変換, Uターン, 段差など)</p> <p>(4) 車いすパスゲーム体験 ・選手のデモンストレーション ・車いすでのパス, キャッチ, シュート, ゲーム</p>    <p>(5) 選手の方からのお話 ・車いすバスケットボール選手になるきっかけ ・日常生活や選手としての生活 ・子ども達に伝えたいこと</p> <p>(6) 終わりの言葉, 花束贈呈 ・子どもの感想発表 ・お礼の花束贈呈</p>  <p>◆事後学習 わかったことの発表 (ポスターセッション, プレゼン発表, など) 及び交流をする。</p>
6 主な成果	<p>○障害者スポーツ (車いすバスケットボール) について知ることができた。</p> <p>○スポーツの価値について考えることができた。</p> <p>○障害のある方から実生活や社会生活をどのように考えて送っているのかといった話を直接聞かせていただくことにより, 共生社会の必要性について考えることができた。</p> <p>○障害の有無に関わらず, 全ての人に対してやさしい町・社会づくりについて考えることができた。</p>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>○4年生なので, 車いすバスケットボールをすることは難しいと考え, パスゲーム用のゴール (低いもの) を使ってゲームを行った。</p> <p>○車いす体験を行ってから講師や選手から話を聞くのではなく, 体験の前後に話を聞くことで, 体験して感じたことを確認しながら話を聞いたり考えたりすることができた。</p>
8 主な課題等	<p>○学習は, 2時間程度で適切だったと思うが, 授業が終わってから, 子ども達が選手のところに行き話をして見られた。給食交流など, 気軽に対話ができる時間があったのではないと思う。</p> <p>○子ども達は, 素晴らしいプレーを見て, スポーツ選手として憧れを抱いていた。できれば, 4~5名の選手にきていただけたらよかったと思う。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>次年度の4年生にも, 今年度同様, 総合的な学習の時間において福祉をテーマとした学習を進める予定である。車いすバスケットボールや点字体験など, できるだけ多くの体験的な活動を取り入れ, 学習を進めていきたい。</p>